

令和6年度 Active Directory及び認証局システム機器等賃貸借

No.	項目名等	質問内容	回答内容
1	4-4-1 詳細設計（サーバ、ネットワーク機器）	<p>以下の記載について本調達での設定変更対象の項目に限定してデフォルト値を記載すれば良い認識で宜しいでしょうか。</p> <p>例) 設定作業対象であるNTPなどのレジストリキーのデフォルト値は記載し、設定作業対象外であるレジストリキーのデフォルト値は記載しない</p> <p><記載内容> パラメータはデフォルト値を含め記載するものとする。</p>	<p>仕様書 4-1 に記載のとおり、本調達では、発注者の環境において、本仕様書を満たすサーバ機器等を適切に動作させるために必要となる設定作業対象の項目に対してデフォルト値および設定値を記載していただければ問題ありません。</p>
2	4-4-2 詳細設計（バックアップ方式）	<p>Veritas Backup Execについて「帯域制限ができること」の要件が満たせないため、以下の要件を満たすバックアップソフトを「Veritas Backup Exec」の代替製品として提案させて頂くことは可能でしょうか。</p> <p><要件></p> <ol style="list-style-type: none"> 1) 帯域制限ができること 2) ログファイルが生成されること 3) 指定した日時に実行できること 4) 指定した周期（例：毎月第2土曜日の0時）で実行できること 5) 転送先として Azure Blob Storage が選択でき、WORM 機能を用いてバックアップデータの保管が可能であること 	<p>バックアップソフトは「Veritas Backup Exec」であることが本調達の要件となりますので、代替製品の提案は不可となります。</p> <p>遠隔地へのバックアップデータ転送における帯域制限についてバックアップソフトの機能もしくはスクリプトで実装することと定めていますが、バックアップソフトの機能で帯域制限ができない場合はスクリプトで実装してください。</p> <p>仕様書 4-4-2（1）に記載のとおり、システムバックアップは、バックアップソフトウェアのジョブ機能を使用して同じ設置場所にあるバックアップサーバにバックアップを取得していただき、取得したバックアップデータは遠隔地のバックアップサーバにも転送いただくこととなります。帯域制限を行っていただくのは、この遠隔地のバックアップサーバへバックアップデータを転送いただく際となり、Windowsの機能（robocopyコマンド等）等を利用したスクリプトにより帯域制限を行ったうえでバックアップサーバにあるバックアップデータを遠隔地に転送することが実現できることを確認しています。</p> <p>なお、スクリプトにより転送処理を実装する場合、スクリプトの正常動作保証は、受注者にて担保していただく必要があります。</p>
3		<p>発注者様がAD-DSやAD-CS等の移行・設定を実施する時期・タイミングをご教授頂けないでしょうか。</p> <p>例) 受入テスト完了後など</p>	<p>当社において実施する移行・設定作業の時期は、本調達の賃貸借開始（2025/3）以降となります。</p>